

■ ■ トップニュース □ □

1. 【お知らせ】意思の表出：提言・見解・報告の公表について
2. 【開催案内】近畿地区会議学術講演会
「サイエンスとアートが拓く新たな知—教育・共創・デジタル技術の最前線—」
3. 【開催案内】公開シンポジウム
「公正なデジタル市場の形成に向けて
—市場の構造、弱い立場の利用者保護、個人データ保護等に焦点を当てて—」
4. 【開催案内】公開シンポジウム
「現代社会における多様なリスクに対処する法とガバナンスのあり方」
5. 【お知らせ】特設ウェブサイト 日本学術会議の法人化について
6. 【日本学術振興会】課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（学術知共創プログラム）
令和 8 年度研究フォーラム

- -----
1. 【お知らせ】意思の表出：提言・見解・報告の公表について

----- ■

【見解】日本学術会議は、会則第 2 条第 4 号に掲げる意思の表出として、以下の見解を公表しました。
・ 9 月 10 日

○見解「人文学・社会科学におけるオープンサイエンスを踏まえた質的研究のためのデータ基盤の形成」
<https://krs.bz/scj/c?c=856&m=64083&v=2665d310&kv=202606>
(要旨) <https://krs.bz/scj/c?c=857&m=64083&v=abed2ef2&kv=202606>

【報告】日本学術会議は、会則第 2 条第 5 号に掲げる意思の表出として、以下の報告を公表しました。
・ 9 月 7 日

○報告「ポスト・トゥルース時代における人々の歴史実践・歴史認識を取り巻く課題
—史料批判と長期タイムスパンによる思考方法が広く共有される社会をめざして—」
<https://krs.bz/scj/c?c=858&m=64083&v=0ad42948&kv=202606>
(要旨) <https://krs.bz/scj/c?c=859&m=64083&v=875cd4aa&kv=202606>

- -----
2. 【開催案内】近畿地区会議学術講演会
「サイエンスとアートが拓く新たな知—教育・共創・デジタル技術の最前線—」

----- ■

【主催】日本学術会議近畿地区会議、京都大学
【日時】令和 8 (2026) 年 9 月 27 日 (日) 13:00 ~ 17:00
【場所】京都大学国際科学イノベーション棟 HORIBA シンポジウムホール (京都市左京区)
【開催方法】ハイブリッド開催

【参加費】 無料

【事前申込み】 要（締切 9 月 23 日（水）23：59）

以下の URL からお申し込みください。

<https://krs.bz/scj/c?c=860&m=64083&v=6e2ecf25&kv=202606>

【開催趣旨】

本サイエンスとアートの交錯が、教育、研究、表現、社会とのコミュニケーションのあり方を捉え直す契機として注目されている。両者が出会い、対話することによって、既存の専門分野の枠を越えた知の形成や、新たな教育・研究の可能性がひらかれつつある。また、デジタル技術の発展は、知識や文化資源の記録、可視化、共有、体験の方法を大きく変化させている。

本講演会では、サイエンス、アート、デザイン、デジタル技術に関わる多様な教育・研究・実践を取り上げる。新たな教育組織の展開、科学者とアーティストをはじめとする異分野間の対話と共創、文化資源や体験をひらくデジタル技術の可能性などを通じて、知がどのようにつくられ、共有され、社会や未来へとつながっていくのかを考える。そこから生まれる新たな知の可能性を探るとともに、サイエンスとアートの交錯から生まれる教育、研究、社会連携の今後のあり方を展望する。

【プログラム】 <https://krs.bz/scj/c?c=861&m=64083&v=e3a632c7&kv=202606>

【問い合わせ先】

日本学術会議近畿地区会議事務局（京都大学総合研究推進本部内）

Email：scj-kinki@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

■-----

3. 【開催案内】 公開シンポジウム

「公正なデジタル市場の形成に向けて

ー市場の構造、弱い立場の利用者保護、個人データ保護等に焦点を当てて」

-----■

【主催】 日本学術会議法学委員会 ICT 社会と法分科会

【後援】 成蹊大学 Society 5.0 研究所、同志社大学デジタル法制研究センター、同志社大学法と社会政策研究センター、「デジタル取引における消費者の脆弱性を踏まえた保護の在り方に関する比較法的研究」（2026 年度基盤研究(B)）、「デジタル化社会における多様化した消費者取引に対応した法制度についての比較法的研究」（2026 年度基盤研究(C)）「情報空間の秩序形成に向けたデジタル社会の再構築ーAI 時代の法秩序構想」（2026 年度基盤研究(B)）「民事手続における『ユビキタス・アクセス権』の創造的構築に関する基礎研究」（2026 年度萌芽研究）

【日時】 令和 8 (2026) 年 9 月 17 日（木）13：30 ～ 17：00

【場所】 日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）

【参加費】 無料

【事前申込み】 不要・直接会場へお越しください。

【開催趣旨】

経済産業省の「令和 6 年度電子商取引に関する市場調査報告書」での推計によると、2024 年の消費者向けデジタル市場は 26.1 兆円（前年比 5.1% 増）であり、消費者向け取引全体の 9.8% を占めている（前年比 0.4 ポイント増）。国内の輸入業者や小売業者を介さずに、取引プラットフォーム経由で海外の事業者から直接購入する例も増加している。

デジタル市場においても、伝統的な対面取引と同じレベルの消費者保護が OECD ガイドラインで求められている。しかし、現実には、コンテンツと広告の区別をあいまいにしたステルスマーケティング、消費者を誤った選択

に誘導する様々なダークパターン、ネット利用者の閲覧履歴等のプロファイリングに基づくターゲティング広告など、デジタルの特徴を駆使した手法があふれている。

また、海外の事業者とのトラブルの解決は容易ではない。さらに、海外では、子どもの保護のための SNS 利用制限の議論が盛んである。

本シンポジウムでは、「公正なデジタル市場の形成に向けて」というテーマの下、主として、市場の構造、弱い立場の利用者保護、個人データ保護の問題等に焦点を当てて多角的に議論する。

【プログラム】 <https://krs.bz/scj/c?c=862&m=64083&v=ae4e32a0&kv=202606>

【問い合わせ先】

件名を【公開シンポジウム「公正なデジタル市場の形成に向けて」】にしてお問合せください。

メールアドレス：ichibu-scj@cao.go.jp

■-----

4. 【開催案内】公開シンポジウム

「現代社会における多様なリスクに対処する法とガバナンスのあり方」

-----■

【主催】日本学術会議法学委員会リスク社会と法分科会、環境学委員会環境政策・環境計画分科会

【日時】令和8(2026)年9月28日(月)13:00～17:30

【場所】日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)(Zoomによるオンライン同時開催)

【参加費】無料

【定員】300名

【事前申込み】要

以下のリンク先よりお申込みください。(申込締切：令和8(2026)年9月23日)

<https://krs.bz/scj/c?c=863&m=64083&v=23c6cf42&kv=202606>

申込後、下記アドレスよりご参加ください。

<https://krs.bz/scj/c?c=864&m=64083&v=359e326e&kv=202606>

ミーティングID: 980 8175 7553

パスコード: 532453

【開催趣旨】

現代社会は、科学技術が発達する中、様々なリスクに囲まれている。現在生起している多様なリスクについて、その抑止と受容、すなわちガバナンスはどのように行われるべきか。本シンポジウムでは、環境リスク、デジタルリスク、感染症リスク、人口減少社会のリスクを取り上げ、各リスクの特徴を踏まえたガバナンスのあり方について、リスク学及び法学の立場から考察する。

【プログラム】 <https://krs.bz/scj/c?c=865&m=64083&v=b816cf8c&kv=202606>

【問い合わせ先】メールアドレス：sectask2008@yahoo.co.jp

■■-----

5. 【お知らせ】特設ウェブサイト 日本学術会議の法人化について

-----□□

令和7年6月11日に日本学術会議法が成立し、日本学術会議は、令和8年10月1日に法人へ移行することとなりました。

こちらのページでは、法人化の準備状況等を掲載しております。

<https://krs.bz/scj/c?c=866&m=64083&v=f5fecfeb&kv=202606>

■■-----

6. 【日本学術振興会】

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
(学術知共創プログラム) 令和8年度研究フォーラム

-----□□

【日時】 令和8(2026)年12月17日(木) 13:15 ~ 15:00

【場所】 オンライン開催

【参加費】 無料

【プログラム】 <https://krs.bz/scj/c?c=867&m=64083&v=78763209&kv=202606>

【事前申込み】 要(締切:12月14日(月)18時)

参加希望の方は、上記URLのフォームからお申し込みください。

【開催概要】

日本学術振興会は、課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業(学術知共創プログラム)令和8年度研究フォーラムを開催します。本フォーラムは、各研究テーマのここまでの成果、特に社会的課題への応答の実績について、社会に向けて発信することを目的としています。現在研究遂行中の7研究テーマの研究代表者より発表いただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】

日本学術振興会基盤支援部基盤支援企画課企画・人社係

メールアドレス:h-s@jsps.go.jp

日本学術会議公式X <https://krs.bz/scj/c?c=868&m=64083&v=d94f35b3&kv=202606>

日本学術会議YouTubeチャンネル <https://krs.bz/scj/c?c=869&m=64083&v=54c7c851&kv=202606>

=====

日本学術会議ニュース・メールは転載自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のニュース・メールは、日本学術会議ウェブサイトに掲載しております。

<https://krs.bz/scj/c?c=870&m=64083&v=20a7c48c&kv=202606>

【本メールに関する問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。本メールに関する問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行:日本学術会議事務局 <https://krs.bz/scj/c?c=871&m=64083&v=ad2f396e&kv=202606>

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34